

令和元年 5 月 24 日  
学校法人 大乘淑徳学園

## 平成 30 年度の資金運用結果について

平成 30 年度の金融市場は、前半好調な米国経済に支えられ、世界的に楽観的な見通しが優勢となりました。日銀の金融政策決定会合でも柔軟に舵を切り、許容変動幅を拡大して 10 年国債利回りが 10 月には 0.165% を示現しました。

しかし、後半は米中貿易協議に対する警戒感や株式市場の変調から世界的に金利は低下トレンドとなり、国内長期金利はマイナス圏まで低下しました。

また、国内のクレジットスプレッドは、低金利の継続見通しを背景に低下傾向となりました。

本学園では、上記の状況の下、資金運用規程に則り、資金運用委員会・資金運用小委員会を組織して、平成 30 年度資金運用方針に基づき資金運用に取り組みました。

以下に平成 30 年度の資金運用結果について簡単にご報告いたします。

### 1 預金（期末残高 123 億円）

満期を迎えた定期預金などについて、一定の預金量を有し健全経営を行っている金融機関のなかから、利率面で有利なところへ見直しを行いました。日銀による長期金利操作付量的・質的金融緩和が継続するなかでの結果となりました。

運用益は 2,925 万円（利回り約 0.24%）となりました。

### 2 社債（期末残高 約 41 億円）

社債については、2 銘柄 4 億円が償還し、生保の劣後債 2 銘柄 4 億円を新規に購入しました。

運用益は 3,837 万円（利回り約 0.94%）となりました。

### 3 金融債（期末残高 約 15 億円）

金融債については、大手金融機関の債券を継続して保有しました。

運用益は 917 万円（利回り約 0.61%）となりました。

### 4 その他（期末残高 約 80 億円）

低金利のなか安全で一定のクーポン収入が期待できるクレジットリンク債 1 銘柄 3 億円とリパッケージ債 1 銘柄 9 億円を新規に購入しました。

運用益は 5,134 万円（利回り約 0.64%）となりました。

以 上